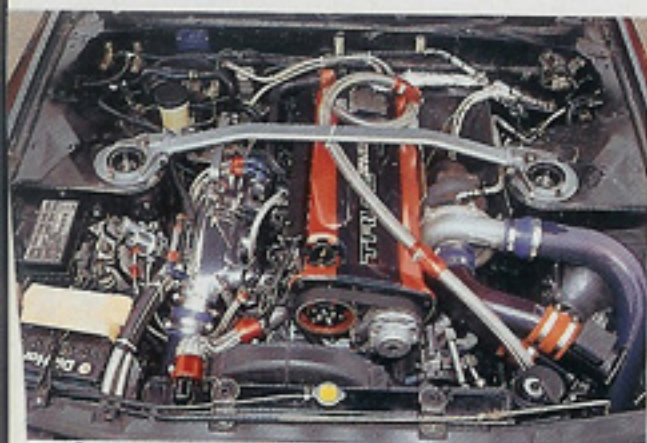


# の筑波、10年振りのサーキット。

## 俺たちや行くぜ!!



▲オリジナルのCPUや87.5φピストンが組み込まれたRB26改。最高出力は500psだ

### TUNING MEMO

■パワートレイン：IHI・C-7タービン/550cc×6インジェクター/200ℓ×2ポンプ/トリプルクラッチ/ニスモオイルクーラー■足回り：オリジナルサスキット■内外装：SP-G&SRシート/オリジナルリップスポイラー



▶タイムアタックにはアドバンスのスリックを使用。ブレーキシステムはブレンボ製だ



◀センターコンソールとダッシュボードに8つの追加メーターが並ぶ。助手席ヒザ元にはトリアルオリジナルのCPとFコンをセット

## レーシングドライバー RDの1秒落ちの好ラップ!



## トリアルGT-R

ベストLAP=1'05"55 平均速度=112.31km/h

■ドライバー：牧原道夫(トリアル社長)

### 特別参加

## Qスープレの限界 エボリューション トラスト黒豹スープレ

■ドライバー：平田清海

### TUNING MEMO

■パワートレイン：グレッディタービンキット/TRマフラー/550cc×2追加インジェクター/グレッディICキット■足回り：グレックスサスキット■内外装：グレッディブースト計&排気温計/グレーサースポーツハーネス

### 豪快走快530 馬力FRマシン

「旧型スープレの究極の姿です」とチューナーの平田さんが胸を張る。黒豹号。530馬力もあるのに、すこく乗りやすいそうで、軽く3秒台のタイムを平田さんがマーク。「コーナリングスピードを無視してパワーを出してまずから、タイムは出しにくい」そうだが、十二分に速い!

平田さんによると、4000rpmからフルブーストがかかり、7200rpmまでキツチリ使えるとのこと。完成度の高さからいえば、グレッ

### 次はもっともっと踏んだる!!

トリアルのGT-Rといえば関西のチューンドの代表格。CPやタービンの交換をはじめ、エンジン本体や伝達系にもしっかり手が入っている。チューナーの牧原さんが乗ってコースイン。筑波を走るのがこれで2度目と言うが、タイムは一分5秒台で安定していて、なかなか立派。さすがGT-Rキットで鍛えているだけのことはある。「このGT-Rはオールマイティな速さを考えて作ったけど、どちらかという 고속サーキット向きかな。タイトコーナーがやや苦手だな」と牧原さん。残り持ちタイムがわずかになって、小幡選手にチェンジ。一周目に一分4秒83を出したところで、残念、時間切れ。一周だけのアタックだったため、約1秒しか詰まらなかったが、「もっと伸びる。あと2〜3秒は速いはずだよ」と牧原さんと小幡選手は口をそろえる。「普段、メカニックにもっと踏めるようにしろって言うてるけど、今日はワシが踏めなかった。最終コーナーで飛んだら全損、というビビリが入ってアクセル戻してしもた(笑)。自分の右足のチューニングをせなアカンな」と牧原さん。次はサーキット専用マシンでチャレンジするというから楽しみだね。

### TUNER'S VOICE

牧原道夫

### 「TIは月2回走ってます」

「クルマの出来は85点で、今日のボクの走りは80点。1度スピンしないとそのコーナーは速くならんからなア。新しいスープレを作って、また筑波に来るわ。右足のブースト圧上げてな(笑)」

■ノーマルとのタイム差：-3秒08



▲トリアルのマスコットGT-R、愛ちゃん。「怖そうやな。最終コーナーは、もうちょっと根性きめて踏んだらアカンわ」とのコト

